

# JOC ジュニアオリンピックカップ

## 2023年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会

### 【山形県予選会実施要項】

#### 1 目 的

県内ジュニア選手を対象に試合を行い、技術向上を図るとともに標記大会東北予選会への出場選手を決定する。

#### 2 主 催

山形県柔道連盟

#### 3 日 時

令和5年6月11日(日)

○選 手 受 付：午前8時40分(武道館入り口)

○開 場・計 量：午前8時50分から同9時20分

○審判・監督会議：午前9時30分(体育館1階高齢者・幼児体育室)

○開 会 式：午前10時

#### 4 場 所

山辺町武道館

#### 5 出場資格

(1) 選手は、日本国籍を有し、(公財)全日本柔道連盟に登録した者で、平成15年(2003年)1月1日以降、平成19年(2007)12月31日以前の出生者であること。(※2023年中に15歳~20歳になる者)

(2) 選手は、登録を行った県からのみ予選に出場できる。

(3) 高校生・中学生の参加は、個人戦において以下の成績を残した者とする。

ア 令和5年度県高校総体：個人戦各階級男女ともにベスト8以上の者

イ 令和4年度県中学総体：個人戦各階級優勝者

ウ 本連盟が、過去の成績等を考慮し、特に認める者

(4) 体重別とし、区分は次のとおりとする。

ア 男子(7階級)

60 kg級、66 kg級、73 kg級、81 kg級、90 kg級 100 kg級、100 kg超級

イ 女子(7階級)

48 kg級、52 kg級、57 kg級、63 kg級、70 kg級 78 kg級、78 kg超級

(5) 脳しんとう対応については以下のとおりとする。(全柔連指示)

予選会前1ヶ月以内に脳しんとうを受傷した選手は、脳神経外科医の診察を受け、出場許可を得ること(書面で提出)。

予選会中、脳しんとうを受傷した選手は、継続して当該予選会に出場することは不可とする。

なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。当該選手の監督は県

柔連事務局及び全柔連に対し、適宜の様式で書面により「事故報告書」を提出すること。

## 6 試合方法

各階級トーナメント戦とする。

## 7 審判規程

- (1) 最新の国際柔道連盟試合審判規程で行う。
- (2) 試合時間は4分間とし、優勢勝ちの判定基準は「技あり」以上とし、得点差がない場合は、時間無制限の延長戦（ゴールドスコア方式）により勝敗を決する。
- (3) 大会におけるマウスピースの使用を可とする。マウスピースは白または透明なものとし、使用する選手は畳に上がる前に審判員にマウスピース使用していることを申告すること。
- (4) 全日本柔道連盟柔道衣規格に適合した柔道衣を使用すること。

## 8 受付計量

予選会当日午前8時50分から同9時20分とする。但し、本県予選会に限り、各階級+1 kgまで認める。

## 9 表彰

各階級第2位まで表彰する（賞状及びメダル贈呈）。

## 10 出場申し込み

所定の申込書により男女とも、本年6月6日(火)午後5時まで必着のこと。

## 11 申込先及び照会先

〒 990-0037

山形市八日町 1-2-5 ヴェルビュ八日町 205

山形県柔道連盟事務局 縄野 一史 宛

携帯 090-8505-8908 [e-mail:abusan23@gmail.com](mailto:abusan23@gmail.com)

## 12 参加料

1人1、500円(予選会当日徴収)

## 13 その他

- (1) 本予選会の優勝者は、東北予選会出場権を獲得する。
- (2) ゼッケンを付けていない者は失格とする。
- (3) 各出場選手は、必ず傷害保険に加入して出場すること。
- (4) 皮膚真菌症（トングランス感染症）については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行なうこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
- (5) すべての参加者及び大会関係者に入場時、検温を実施する（37.5℃以上ある場合は、入場を認めないことがある。）。
- (6) **入場を認める参加者**

会場の収容能力が限られていることから、以下のとおりとします。

- ① 選手については、所属団体の男子選手及び女子選手が奇数の場合のみ練習相手各1名が参加できる（\*男女各参加人数+練習相手が偶数となる。）。
  - ② 男女1所属団体につき、それぞれ1名のコーチが入場することができる。
  - ③ 観客の入場制限は行わないが、2階観客席で観戦すること（1階での観戦は認めない。厳守されない場合、今後の本連盟主催大会について、観客の入場制限を行います。）。
- (7) マスクの着用について  
すべての参加者及び大会関係者は、常時マスクを着用してください。ただし、試合を行う選手及び審判中の審判員については、これを除外します（審判員にはフェイスシールドを配布します。）。
- (8) 手指消毒及び周辺施設の消毒について
- ① 入場時の手指消毒  
すべての参加者及び大会関係者には、入場時、手指の消毒を行うこと。
  - ② 入場後の手指消毒及び周辺施設の消毒  
入場後、会場内においても適宜手指の消毒を求めます。そのため、消毒液を出入口各所に設置、共有する施設については、消毒液を整備します。
- (9) 試合前・試合中の選手、コーチ及び観客の行動について
- ① 参加者は、常時適切な身体的距離を確保し、行動するようにする。私語は慎んでください。
  - ② 試合中、選手及び観客は、大きな発声をしないよう自粛を求めます。特に試合中のコーチによる大声での指示や指導は、厳に慎んでください。
- \* **新型コロナウイルス感染症は、感染症法上の位置付けが5類感染症に変更されましたが、感染症対策の基本となる手洗い、マスクの着用、社会的距離の確保を徹底した大会を行いますので、ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。**
- \* 参加申込用紙に記載された個人情報が、県柔連ホームページに掲載される場合があります。